

国語科 中学校2年

単元名「対義語・類義語・多義語」
光村図書「国語2」

単元の流れ（全3時間）

第1次【第1時】

主な学習内容

- ・学習の目標・計画にしたがって、見通しを持つ。
- ・対義語を例示し、対義語について理解する。
- ・グループで対義語の例を考え、発表する。
- ・類義語について理解する。
- ・類義語であっても、文脈によっては置き換えられない場合があることを知る。
- ・グループで、類義語について発表する。
 - ①類義語の例を考える。
 - ②類義語を使った例文を考える。
 - ③置き換え関係を整理する。
 - ④発表する。

「活用」の力育成のために

インターネットを利用したり、学校図書館を利用したりする。(①)
グループで取り組むことによって、論理的に話す機会とする。(②)

第1次【第2時】(本時)

主な学習内容

- ・多義語について理解する。
- ・グループで多義語について発表する。

「活用」の力育成のために

インターネットや学校図書館の利用(①)
グループでの取組(②)

第2次【第3時】

主な学習内容

- ・資料文(『古典の心に近づく』)を使って、対義語、類義語、多義語について調べる。
- ・調べて分かったことをグループ毎に発表する。

「活用」の力育成のために

インターネットや学校図書館の利用(①)
グループでの取組(②)
実際の文章を使って考える(③)

単元目標

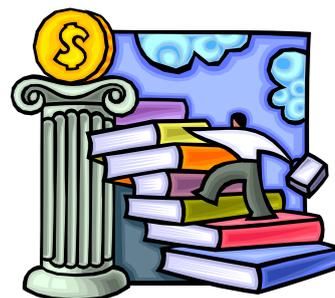
- 対義語、類義語、多義語を理解し、語感を磨き、語彙を豊かにする。

単元構成の意図

- ・対義語、類義語、多義語が、話すこと・聞くこと、書くこと、読むことのいずれの分野においても重要な基礎的・基本的な知識であることから、言語事項のみを取り上げ、焦点化した。
- ・第2次に、実際の文章について調べる活動を通して、活用することで、習得した知識をより深く理解させ、定着を図る。

「活用」の力を育てるポイント

- ①インターネットを利用したり、学校図書館を利用したりする。
- ②グループで取り組むことによって、論理的に話す機会とする。
- ③機械的に暗記するのではなく、実際の文章を使って考える。
- ④対義語、類義語、多義語は、話すこと・聞くこと、書くこと、読むことのいずれの分野においても重要な基礎的・基本的な知識である。他の単元を指導する際にもできるだけ指導する。



HOME

本時の流れへ

授業展開例へ

評価問題